

胃がん検診について ー安全に検診を受けていただくためにー

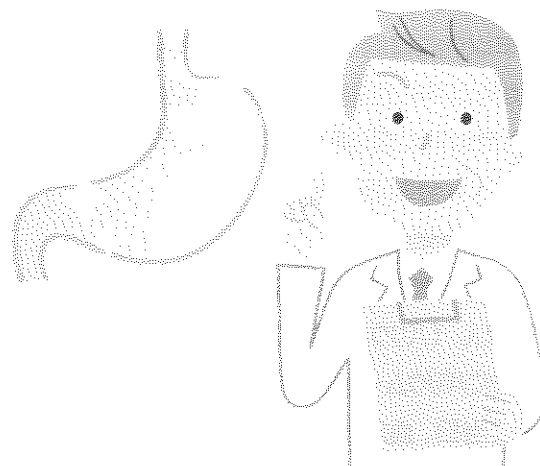
猪名川町の胃がん検診は、個別検診（胃内視鏡検査：胃カメラ）と集団検診（胃部X線検査：バリウム）があります。それぞれ対象年齢、申込方法、金額など異なりますので、案内文をご確認の上、お申込みください。また、個別検診（胃内視鏡検査：胃カメラ）は2年に1回の検診になりますので、翌年は集団検診（胃部X線検査）も受けることはできません。

身体に負担のある検査になりますので、お申込みをいただいても受診していただけない場合がありますので、必ず、お読みください。

1. 個別検診、集団検診のいずれも受けていただけない方

※ 必ずご確認ください

- ① 妊娠中、またはその可能性がある方
- ② 胃疾患で治療中の方（ピロリ菌除菌中の方含む）
- ③ 呼吸不全のある方、常時酸素吸入をしている方
- ④ 急性心筋梗塞や重篤な不整脈など心疾患のある方



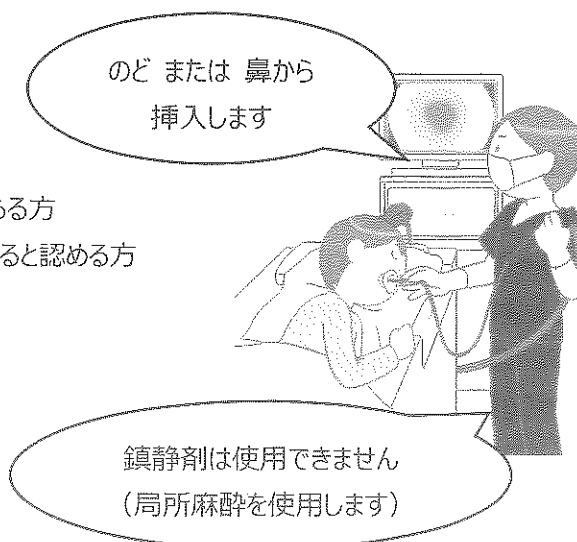
2. 個別検診（胃内視鏡検査：胃カメラ） 対象：50歳以上（令和7年3月末年齢）

胃内視鏡検査は、のどまたは鼻を局所麻酔をしてから、のどまたは鼻から内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を観察して診断を行います。（検診では鎮静剤は使用できません）

食道・胃・十二指腸の炎症・ポリープ・がんなどの病気を発見する最も精度の高い検査ですが、検査を行うことで起こりうる合併症があり、また、安全のために受診していただけない場合があります。必ず、下記の事項をお読みいただき、お申込みください。

（1）検査を受けられない方 ※必ずご確認ください

- ① 前年度に、胃内視鏡による胃がん検診を受診した方
- ② 勤務先等において、同様の胃がん検診を受診できる機会のある方
- ③ 医師が診察した結果、胃がん検診を受診することが困難であると認める方
- ④ 同意書の取得ができない方
- ⑤ 咽頭・鼻腔などに疾患があり、内視鏡の挿入ができない方
- ⑥ 明らかに出血しやすい方、またはその疑いのある方
- ⑦ 血圧が極めて高い方

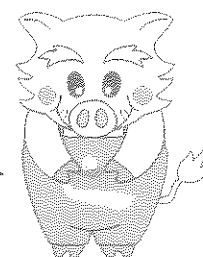


（2）起こりうる合併症について

胃内視鏡検査を行うことで、偶然におこる症状や事象が発生する場合があります。このような偶発症を避けるべく細心の注意を払いますが、万一生じた場合は、最善の対処をいたします。検査後に医療を実施する場合は、保険診療により対応します。

- ① 粘膜裂傷、出血、穿孔
- ② 使用する薬剤（麻酔剤など）によるショックなど
- ③ 誤えん性肺炎、歯の損傷
- ④ 治療中の病気（脳梗塞・心筋梗塞など）の悪化

胃内視鏡検査の保健センターへのお申込みは **4月1日** から です

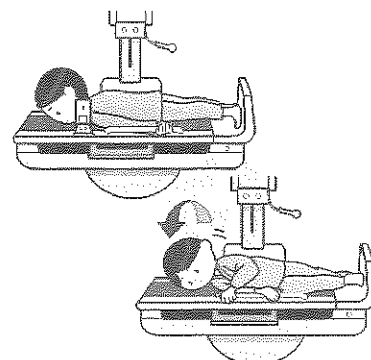
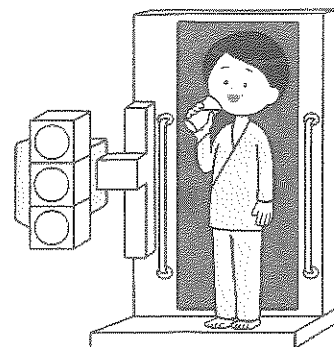


3. 集団検診（胃部X線検査） 対象：35歳以上（令和7年3月末年齢）

胃部X線検査は、絶飲食の状態、発泡顆粒（胃を膨らます薬）とバリウムを飲み、X線撮影を行います。検査の際に検査台が動いたり、ご自身で体を動かしていただきます。

（1）検査を受けられない方 ※必ずご確認ください

- ① 消化器の病気【例：腸閉塞、腸ねん転、胃や腸に穿孔（穴があく）や出血、狭窄（せまくなっているところ）がある】の既往がある方、治療中の方、疑いがある方。食道・胃・腸に憩室炎があり治療中の方
- ② 1年以内に胃腸等の腹部や食道手術をした方
- ③ 3カ月以内に食道・胃・腸の組織検査（バイオプシー・生検）、ポリープ切除、潰瘍の治療をした方
- ④ 3カ月以内に食道・胃・腸以外に手術をした方（例えば、甲状腺・心臓・関節など）
- ⑤ 現在、水分制限のある方
- ⑥ 腎臓に病気のある方
- ⑦ 以前にバリウムを飲んで浣腸を使用したり、医療機関を受診するほどのひどい便秘をした方や誤えん（バリウムが肺に入った）のあった方。また、検査中に誤えんの見つかった方
- ⑧ 過去にバリウム・発泡剤でじんましん、おう吐等を生じた方（バリウムアレルギーや過敏症）
- ⑨ 検査当日、血圧が高い方（収縮期血圧180mmHg以上の方、または拡張期血圧110mmHg以上の方）
* 健診当日、安全のために血圧測定を行います
- ⑩ 検査当日の体調不良、検査中に気分が悪くなった方
- ⑪ 検査前に絶食や食事制限を守ることができない方
- ⑫ 現在、運動制限がある、体力的に不安があるなどで検査の際に体位変換が困難な方（健診台で、ご自身で体を動かしたり、健診台が向きを変える際、バーを握り体を支えていただく必要があります）
- ⑬ 体重が130kg以上の方



（2）次のいずれかに該当する方は、検診を受ける前に必ず主治医にご相談ください

- ① 現在治療中であり、お薬を飲まれている方（特に、インシュリン注射又は、血糖を下げるお薬を飲まれている方は、薬の服用時間や注射する時間について、必ず主治医にご相談ください）
- ② 高血圧や腰痛などで治療されている方
- ③ 食道・胃・腸に憩室のある方
- ④ 誤えんや「せきこみ」「むせ」などを起こしたことのある方、起こしやすい方

＜お問合せ＞

猪名川町生活部住民課健康づくり室（保健センター）

電話：072-766-1000